
第46期
第1四半期 決算説明資料

“FUKUI COMPUTER GROUP” FY2024-1Q

売上高

3,481百万円
YoY Growth Δ 1.6%

営業利益

1,400百万円
YoY Growth Δ 0.3%

ARR

1,843百万円
YoY Growth + 5.9%

ARPA

5.1万円
YoY Growth 4.1 %

継続取引企業社数

33,059社
YoY Growth +1.6%

Churn Rate

5.3%
FY2023-1Q 4.9%

(単位:百万円)

	FY2024 (1Q実績)	FY2023 (1Q実績)	増減率
売上高	3,481	3,537	△1.6%
営業利益	1,400	1,403	△0.3%
経常利益	1,424	1,429	△0.4%
四半期純利益	968	968	+0.0%
ROE	—	—	—
ROS	40.2%	39.7%	—

FY2024 (通期予想)	予算比
13,837	25.2%
5,390	26.0%
5,430	26.2%
3,572	27.1%
14.0%	—
39.0%	—

- ✓ 売上高は前年同期比1.6%の減少
- ✓ 建築システム事業において売上が伸長
- ✓ ITS事業において昨年度は統一地方選が実施され選挙関連の売上が計上されたが、当第1四半期には主だった選挙が実施されず減収

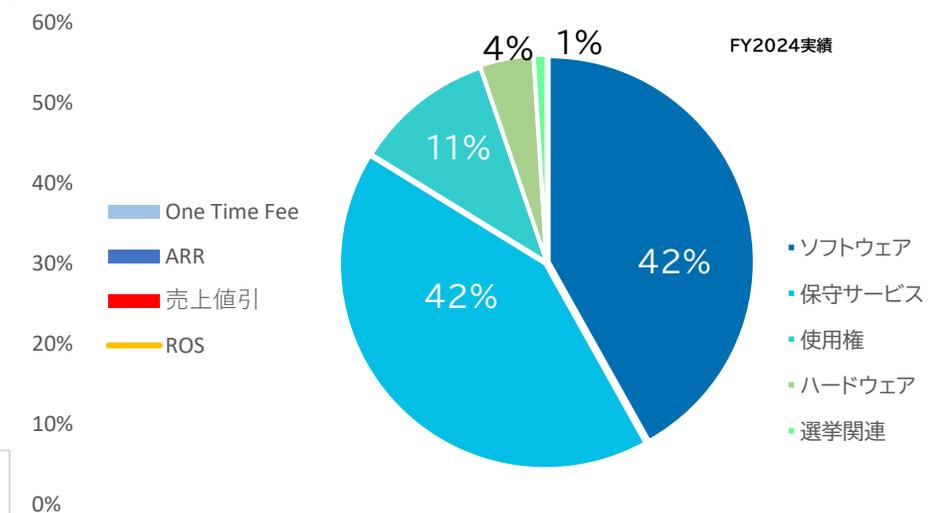
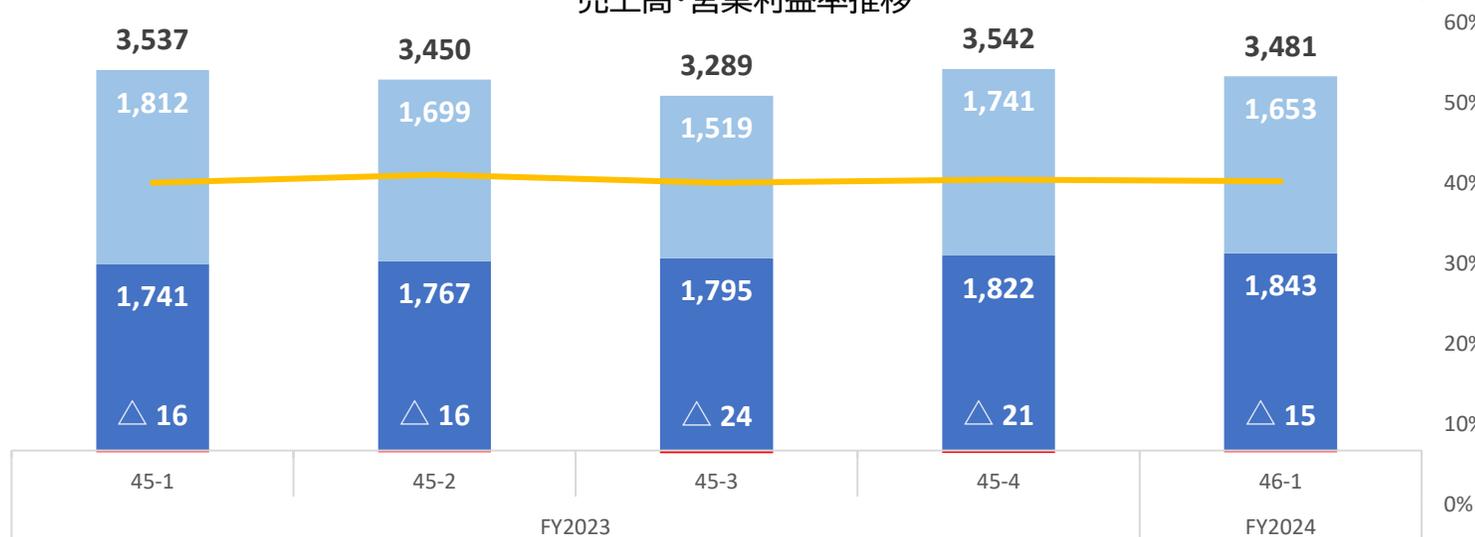
四半期ごとの推移

(単位:百万円)

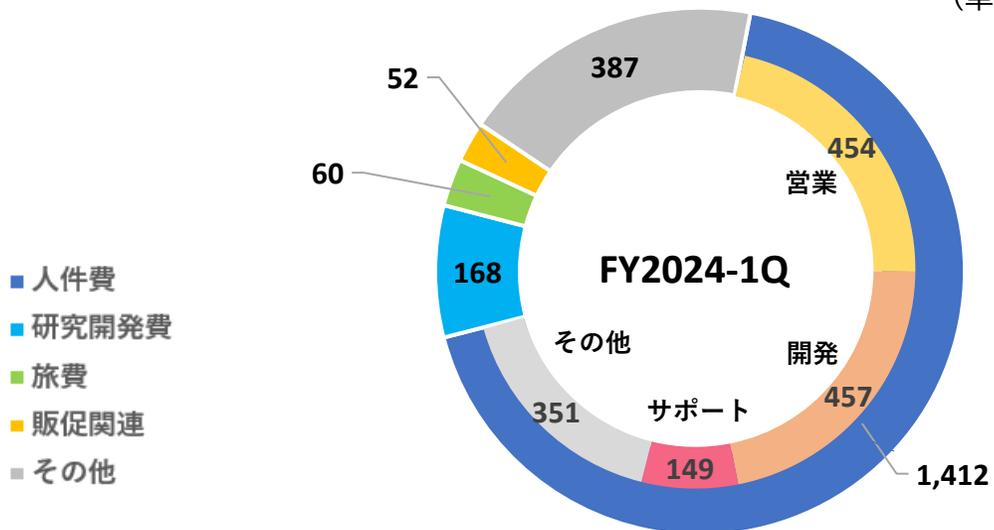
	FY2023 実績					FY2024 実績					前年同期比 累計YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	3,537	3,450	3,289	3,542	13,821	3,481	—	—	—	3,481	△ 1.6%
└ ARR	1,741	1,767	1,795	1,822	7,126	1,843	—	—	—	1,843	+ 5.9%
営業利益	1,403	1,487	1,220	1,473	5,585	1,400	—	—	—	1,400	△ 0.3%
経常利益	1,429	1,511	1,239	1,496	5,676	1,424	—	—	—	1,424	△ 0.4%
四半期純利益	968	1,006	839	1,003	3,817	968	—	—	—	968	+ 0.0%

売上高・営業利益率推移

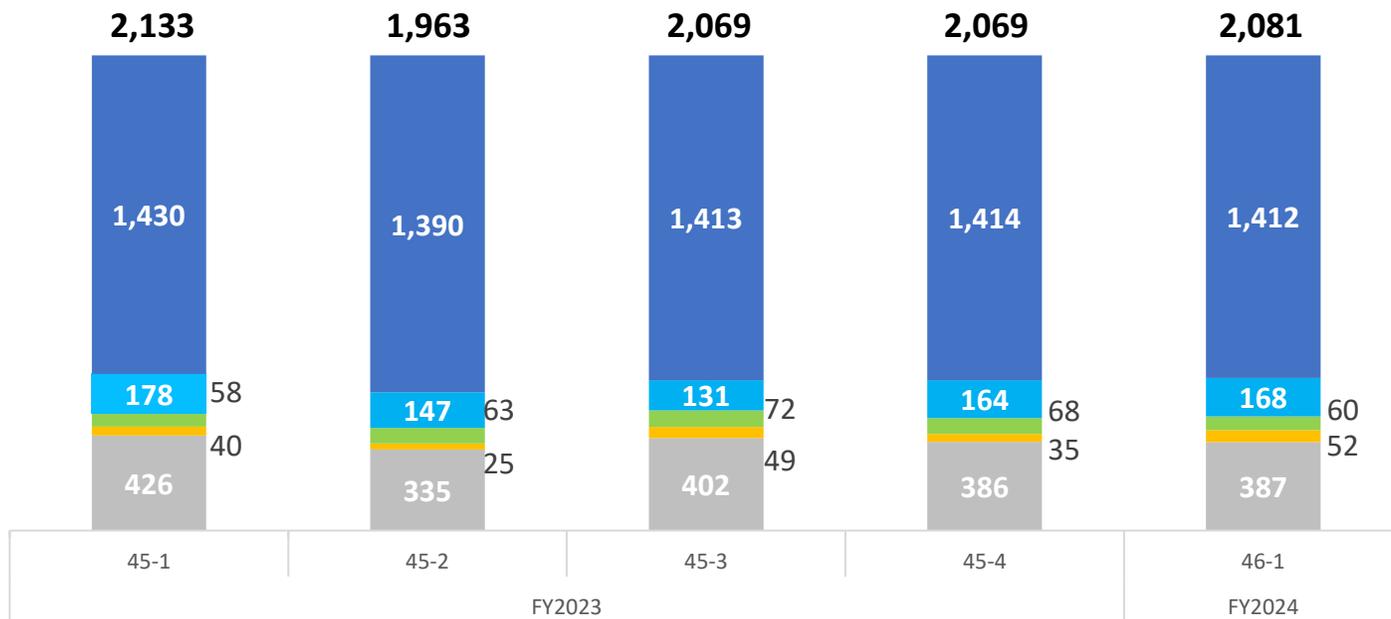
(単位:百万円)



(単位:百万円)



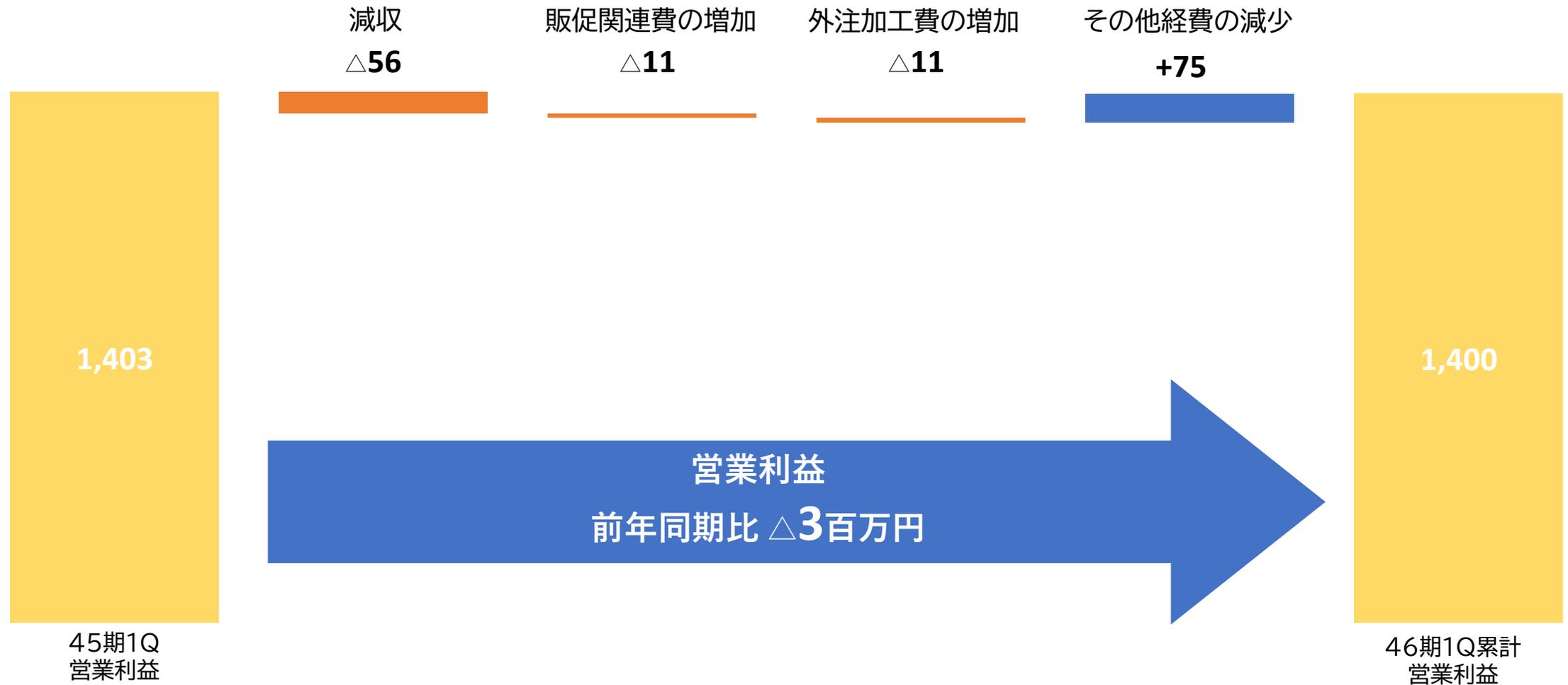
(単位:百万円)



- ✓ 人件費が約7割を占めております。社員が安心して長く働ける環境づくりを目指し、建設業全体の生産性向上に寄与する製品の提供に努めてまいります。
- ✓ 「その他」の主な内容は地代家賃・賃借料、商品売上原価、減価償却費、ロイヤリティ等です。

経費は減少するも、減収により営業利益は前年同期比△3百万円

(単位:百万円)



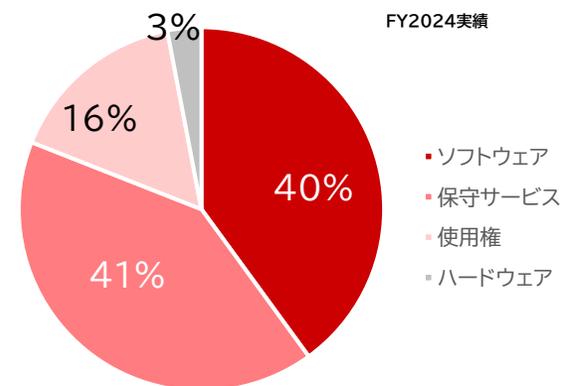
建築システム事業

- ・ 保守サービス及び3Dカタログサイトの継続取引企業社数が堅調に推移し、ストックビジネスは伸長
- ・ 住宅事業および建材事業では、2025年の建築基準法改正に伴う対応需要の拡大により、製品および保守サービスの売上が好調に推移
- ・ BIM事業においては、建設業の働き方改革と生産性向上をテーマに2024年5月にGLOOBE2024をリリースし、国産BIMシステムの強みを活かした展開により売上が増加

■ 四半期ごとの業績推移

	FY2023 実績					FY2024 実績					前年同期比 累計YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	1,480	1,615	1,650	1,708	6,454	1,650	—	—	—	1,650	+11.5%
└ARR	901	911	926	934	3,673	946	—	—	—	946	+5.0%
└保守	662	666	672	674	2,674	669	—	—	—	669	+1.1%
└使用権	239	245	253	260	998	277	—	—	—	277	+15.9%
営業利益	403	546	545	626	2,121	585	—	—	—	585	+45.2%

(単位:百万円)



Churn Rate

6.5%

FY2023-1Q 5.4%

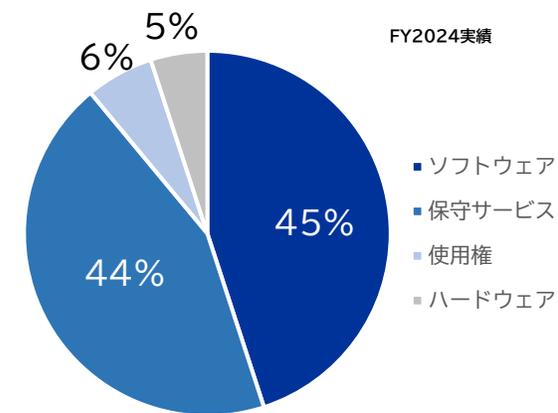
測量土木システム事業

- 国土交通省が推進する「i-Construction 2.0」やBIM/CIM原則適用で3次元対応需要が拡大し、土木事業における3次元商材の売上が好調に推移
- 測量事業においては、当四半期には前年同期に行った主要製品のバージョンアップを行っていない事も影響し、前年同期比でわずかに売上が減少

■ 四半期ごとの業績推移

(単位:百万円)

	FY2023 実績					FY2024 実績					前年同期比 累計YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	1,806	1,802	1,610	1,794	7,014	1,798	—	—	—	1,798	Δ0.5%
└ARR	839	855	869	888	3,452	897	—	—	—	897	+6.9%
└保守	765	772	781	793	3,113	797	—	—	—	797	+4.2%
└使用権	74	82	87	94	339	99	—	—	—	99	+34.0%
営業利益	844	900	677	880	3,302	858	—	—	—	858	+1.7%



Churn Rate

4.4%

FY2023-1Q 4.4%

ITソリューション事業

- ・ FY2023は、2023年4月に行われた統一地方選挙の出口調査システムにかかわる売上を計上
- ・ 今四半期においては主だった選挙の実施がなかったため、減収減益

■四半期ごとの業績推移

(単位:百万円)

	FY2023 実績					FY2024 実績					前年同期 比累計 YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	251	32	28	39	352	32	—	—	—	32	△ 87.0%
営業利益	175	△ 10	△ 8	△ 12	145	△ 7	—	—	—	△ 7	△ 104.2%

投資事業

- ・ 前第1四半期に投資ファンドを設立
- ・ 営業損失は、運営経費による0百万円(前年同期は収益及び利益又は損失は発生していません)

■四半期ごとの業績推移

(単位:百万円)

	FY2023 実績					FY2024 実績					前年同期 比累計 YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	△ 9	△ 9	△ 0	—	—	—	△ 0	—

サブセグメント情報

(単位:百万円)

	FY2023 実績					FY2024 実績					前年同期 比累計 YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
住宅事業	1,095	1,195	1,231	1,260	4,781	1,194	—	—	—	1,194	+ 9.0%
建材事業	184	200	200	207	791	207	—	—	—	207	+ 12.5%
BIM事業	144	172	187	199	702	209	—	—	—	209	+ 45.1%
その他	57	48	33	43	181	40	—	—	—	40	△ 29.5%
建築システム事業一計	1,480	1,615	1,650	1,708	6,454	1,650	—	—	—	1,650	+11.5%
測量事業※	—	—	—	—	—	946	—	—	—	946	—
土木事業※	—	—	—	—	—	803	—	—	—	803	—
(うち旧建設インフラ事業)	609	657	512	671	2,449	—	—	—	—	—	—
その他	46	48	41	35	170	49	—	—	—	49	—
測量土木システム事業一計	1,806	1,802	1,610	1,794	7,014	1,798	—	—	—	1,798	△ 0.5%
ITソリューション事業	251	32	28	39	352	32	—	—	—	32	△ 87.0%
合計	3,537	3,450	3,289	3,542	13,821	3,481	—	—	—	3,481	△1.6%

※ 今期より、より実態に即したセグメントにするため、建設インフラ事業は測量・土木事業それぞれに統合いたしました。当第1四半期の旧建設インフラ事業の売上高は605百万円となります。

FY2024 通期業績予想

(単位:百万円)

	FY2023 (前期)	FY2024 (当期予想)	増減率
売上高	13,821	13,837	+0.1%
営業利益	5,585	5,390	△3.5%
経常利益	5,676	5,430	△4.3%
当期純利益	3,817	3,572	△6.4%
1株当たり当期純利益	184円63銭	172円77銭	
1株当たり配当金	65円	70円	
ROE	16.6%	14.0%	

業績予想

売上高13,837百万円、営業利益5,390百万円、経常利益5,430百万円、当期純利益3,572百万円を見込んでおります。

建築システム事業

住宅事業における主要ソフトウェアの機能拡充、またBIM事業における施工フェーズへのソリューション提供により売上増加を図りながらストックビジネスの拡大にも取り組んでまいります。

測量土木システム事業

国土交通省が推進する「i-Construction 2.0」やBIM/CIM原則適用を成長のチャンスととらえ、測量事業および土木事業における建設業の生産性向上に寄与する新しいソリューションの開発や、既存ソフトウェアの機能改善・深堀により、継続取引社数の拡大に向け取り組んでまいります。

弊社集計基準は下記の通りです。

継続取引企業社数	前期6月末より継続して取引のある企業社数(2024/6月末時点)
ARR	ストック売上(使用権、保守サービス売上)における年間定期収益
ARPA	ARRを6月末時点の契約企業社数で割り返し算出
Churn Rate	ストック売上における継続企業社数で算出
One Time Fee	一時点で収益を認識する売上
ROS	営業利益率